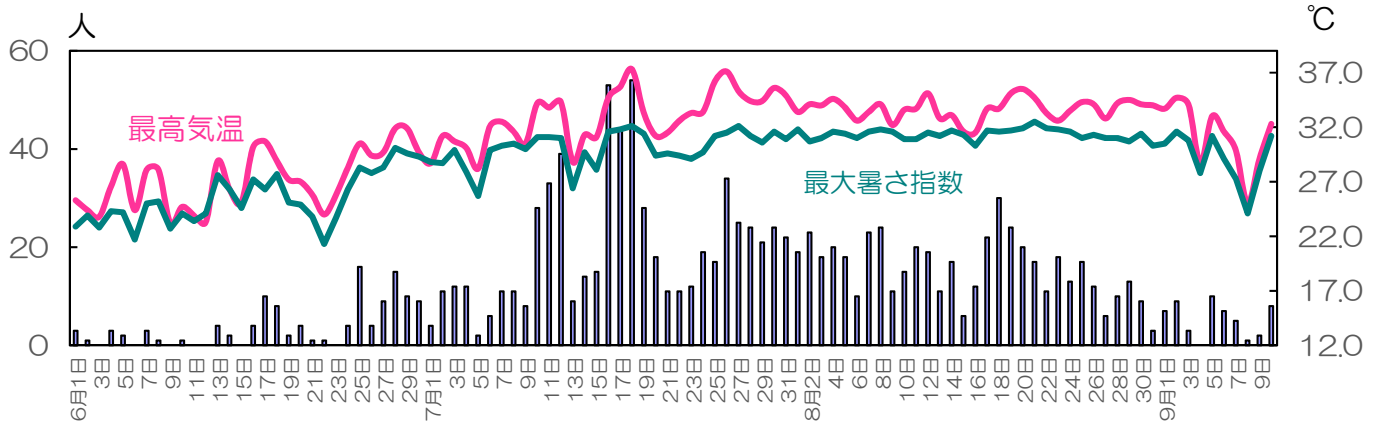


# 熱中症情報

## <搬送数>

令和5年5月1日～9月10日までの搬送数（消防局データを使用）は、計1,329人（5月37人、6月117人、7月632人、8月491人、9月52人）でした。7/14～9/3までは、最高気温30℃以上、暑さ指数28℃以上と厳しい暑さで、8/31・9/3を除き、搬送数は5人以上/日でした（7月18日は、最高気温37.3℃・暑さ指数32.1℃で、54人でした）。9/4は、最高気温28.7℃・暑さ指数27.8℃で搬送数が0人でした。



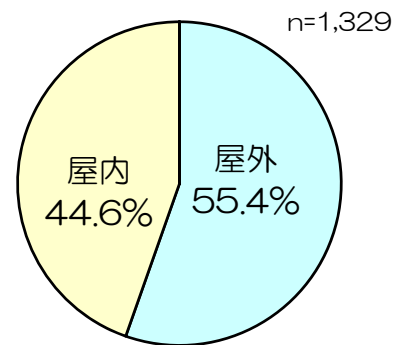
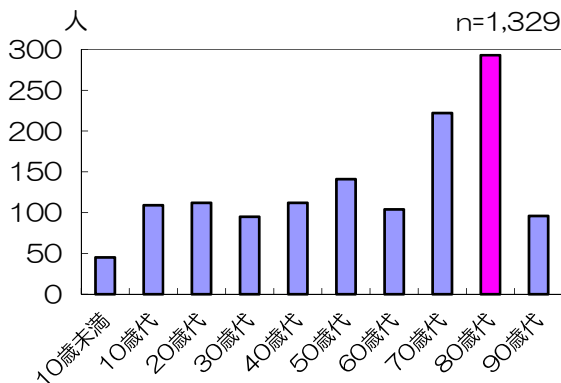
9月も中旬に入り、搬送数も減少傾向ですが、まだ暑い日もありますので、こまめに水分を取り、室温を適切に調節し、暑さから身を守りましょう。夏の疲れが出る頃なので、体調を崩したりする事がないように、気をつけてお過ごしください。

**暑さ指数とは？**人間の熱バランスに影響の大きい①湿度 ②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境 ③気温の3つを取り入れた温度の指標 詳細は「環境省熱中症予防情報サイト [暑さ指数\(WBGT\)とは？](#)」をご覧ください。

以下のグラフのデータは、5月1日からの累積搬送数です。

## <年齢別>

80歳代が293人(22.0%)で最も多く、**<発生場所>** 屋外55.4%、屋内44.6%で、次が70歳代で222人(16.7%)でした。屋外での発生が多くなっています。



## <重症度>

軽症61.5%、中等症35.6%、重症2.4%、重篤0.5%でした。高齢者(65歳以上)の中等症以上の割合が53.4%と、高くなっており、高齢者に重症化する傾向がみられます。

